

2022年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名 池口 功晃	職名 准教授	学位 博士(経済学)(久留米大学2019年)
----------	--------	------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
観光経済学、地域活性化	日帰り観光、観光の経済効果

研究課題
観光を通じた地域経済活性化に関する国内のこれまでの研究は、観光地の「魅力」がその核心であると捉えたものが多く、例えば、温泉、食事、レクリエーションなど、いわゆる観光資源の魅力をいかに高めるかということに焦点が当てられてきた。しかし、近年の急速な高速交通網の発達には時間距離を短縮させるため、観光地の「魅力」は相対化されつつある。そこで、この点に着目し、①観光行動を消費者行動と捉えた消費行動分析、②観光地間の競合関係の分析、③産業連関表を通じた観光の経済分析など、主として3つのテーマを設定し、地域経済の計量的分析および評価をおこなっている。

担当授業科目				
<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">(前期)</td> <td style="text-align: center;">((後期)</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済入門 (英語・観光文化学科)</li> <li>・初年次セミナーI (観光文化学科)</li> <li>・日本経済入門 (観光文化学科)</li> <li>・ビジネス演習 (観光文化学科)</li> <li>・観光関連法規 (観光文化学科)</li> <li>・国内旅行実務 (観光文化学科)</li> <li>・専門演習I</li> <li>・卒業研究</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスファイナンス (観光文化学科)</li> <li>・キャリアデザイン論II (観光文化学科)</li> <li>・地域活性化演習 (観光文化学科)</li> <li>・地域活性化研究 (観光文化学科)</li> <li>・ツーリズム演習 (観光文化学科)</li> <li>・地域観光資源開発論</li> <li>・専門演習II</li> <li>・卒業研究</li> </ul> </td> </tr> </table>	(前期)	((後期)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済入門 (英語・観光文化学科)</li> <li>・初年次セミナーI (観光文化学科)</li> <li>・日本経済入門 (観光文化学科)</li> <li>・ビジネス演習 (観光文化学科)</li> <li>・観光関連法規 (観光文化学科)</li> <li>・国内旅行実務 (観光文化学科)</li> <li>・専門演習I</li> <li>・卒業研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスファイナンス (観光文化学科)</li> <li>・キャリアデザイン論II (観光文化学科)</li> <li>・地域活性化演習 (観光文化学科)</li> <li>・地域活性化研究 (観光文化学科)</li> <li>・ツーリズム演習 (観光文化学科)</li> <li>・地域観光資源開発論</li> <li>・専門演習II</li> <li>・卒業研究</li> </ul>
(前期)	((後期)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済入門 (英語・観光文化学科)</li> <li>・初年次セミナーI (観光文化学科)</li> <li>・日本経済入門 (観光文化学科)</li> <li>・ビジネス演習 (観光文化学科)</li> <li>・観光関連法規 (観光文化学科)</li> <li>・国内旅行実務 (観光文化学科)</li> <li>・専門演習I</li> <li>・卒業研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスファイナンス (観光文化学科)</li> <li>・キャリアデザイン論II (観光文化学科)</li> <li>・地域活性化演習 (観光文化学科)</li> <li>・地域活性化研究 (観光文化学科)</li> <li>・ツーリズム演習 (観光文化学科)</li> <li>・地域観光資源開発論</li> <li>・専門演習II</li> <li>・卒業研究</li> </ul>			

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 日本経済入門 】</p> <p>経済学系の科目は金利、株価、貿易、財政、税などマクロ経済学の基礎的理解が必須である。そこで、授業の前半ではマクロ経済学の基礎について図や計算による演習をおこない知識の定着を図った。また、授業の後半では戦後の日本経済(GHQの占領下～高度経済成長期～石油ショック～バブル経済の発生と崩壊～不良債権問題～アベノミクス)について上述した基礎を踏まえながら順に説明をおこなった。</p>
<p>授業科目名【 地域観光資源開発論 】</p> <p>北部九州・山口県における観光の取り組みについて、学生が各グループに分かれて実地・文献調査をおこない、その後発表会を通じて新しい観光のあり方について議論する場を設けた。</p>
<p>授業科目名【 ビジネスファイナンス 】</p> <p>ビジネスではいわゆる数字(例えば、売上、原価、利益など)を読むことが大切であることから、本授業ではあらゆる業種の財務諸表を扱い、企業財務(ファイナンス)の分析手法について詳しく説明している。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
東アジア企業経営学会 日本企業経営学会 九州都市学会 経営行動研究学会 観光学術学会 日本観光研究学会 日本地理学会	設立発起人	2021年4月～現在に至る 2018年4月～現在に至る 2015年4月～現在に至る 2013年4月～現在に至る 2012年4月～現在に至る 2008年4月～現在に至る 2008年4月～現在に至る

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) 「地域産業構造と観光政策の視座—北九州市を事例として—」	単	2023. 3	『西南女学院大学紀要』第27号	わが国では2003年以来、観光立国の実現に向けた取組みが俄かに進められてきたが、観光政策の視座が未だ確立しておらず、依然として入込観光客数の増減のみを評価対象としているケースが多い。本稿においては北九州市を事例に、同市が公表している産業連関表と他の政令指定都市産業連関表における影響力係数や感応度係数などの分析指標の比較を通じて、同市における観光政策の視座の確立を試みた。
(翻訳)				
(学会発表) 「地方自治体における観光政策の現状とその課題—九州・沖縄の各県を事例に—」	単	2022.12	東アジア企業経営学会第2回全国研究大会 (於、下関市立大学, オンライン開催)	2008年に観光庁が発足して以降、地方自治体の観光政策は、国が主導する観光立国推進基本計画との調整を図りつつ、地域独自の視点を一部織り交ぜながら進められてきた。しかし、人口減少や少子高齢化が進む昨今において行政機関の予算は年々縮小傾向にあり、その効率的な運用が求められている。そこで、本発表においては九州・沖縄の各県を対象にポストコロナの観光政策がどのように立案され施行されているか、現状を比較検討しながらその課題について考察した。

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
「輝こう！あまがせ・支援大使」（大分県日田市天瀬町「天瀬公民館まちづくり事業」）	観光に関する助言・指導	平成 25 年 9 月～現在に至る
宇佐市まち・ひと・しごと創生有識者会議 審議委員	副委員長	平成 27 年 7 月～現在に至る
津久見市まちづくり推進事業審査委員	副委員長	平成 28 年 8 月～現在に至る
日田市天瀬農業公園検討委員会	会長	平成 30 年 9 月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
教務委員